

研究課題名「小児集中治療室におけるデバイス関連医療関連感染の14年間 単施設サーベイランス研究」に関する情報

第1.0版 2026年6月10日

この研究について

【研究の意義および目的】

小児集中治療室（PICU）では、中心静脈カテーテル、人工呼吸器、尿道カテーテルなどの医療デバイスを使用する患者さんが多く、デバイスに関連した医療関連感染を継続的に把握することは、感染対策の評価と改善のために重要です。

一方で、日本のPICUにおける長期間のデバイス関連医療関連感染（device-associated healthcare-associated infections：DA-HAI）サーベイランスデータは限られています。

本研究では、2012年から2025年までの当院PICUにおける中心ライン関連血流感染

（CLABSI）、人工呼吸器関連肺炎（VAP）、尿道カテーテル関連尿路感染（CAUTI）の発生率、デバイス使用状況、原因微生物の推移を明らかにし、今後の改善に役立てるとともに、他施設や国内外の報告と比較するための基礎資料とすることを目的とします。

【研究の方法】

本研究は、長野県立こども病院で行う単施設後方視的観察研究です。2012年1月から2025年12月までに当院PICUへ入室した患者を対象とします。本研究では、通常の診療録に加えて、当院で感染対策の一環として継続的に記録している感染症の発生状況や医療デバイスの使用状況に関する情報を使用します。既存の診療録および感染対策サーベイランスデータから、年、入室数、患者日数、中心静脈ライン日数、人工呼吸器日数、尿道カテーテル日数、CLABSI・VAP・CAUTIイベント数、原因微生物等を収集します。感染率は各デバイス日数1,000日あたりのイベント数として算出します。年次推移は記述統計により示し、感染イベント数を目的変数、暦年を説明変数、対応するデバイス日数の対数をオフセット項としたPoisson回帰により評価します。デバイス使用比および原因微生物分布は記述的に要約します。本研究では、研究目的で新たな検査、処置、治療変更、来院、採血、検体採取をお願いすることはありません。

【予測される研究の結果】

本研究により、当院PICUにおけるデバイス関連医療関連感染の長期推移、デバイス使用状況、原因微生物の分布が明らかになることが期待されます。研究結果は、当院における感染対策の評価、今後の改善策の検討、将来的な多施設比較やベンチマーキングに役立つ可能性があります。なお、本研究は既存情報を用いた集計解析であり、研究対象者個人の診断や治療に直接関わる新たな結果が得られる研究ではありません。

【研究期間】

この研究は、2026年7月27日（長野県立こども病院倫理委員会承認日）より2028年3月31日まで実施される予定です。

【研究者】

研究実施責任者／氏名：大森教雄（長野県立こども病院 小児集中治療科副部長）

【連絡先】

この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に試料または情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。

なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

- この研究に関する問い合わせ先
長野県立こども病院 小児集中治療科 副部長 大森教雄
- この研究に関する苦情等の連絡先
長野県立こども病院 臨床研究支援室
電話：(0263) 73-6700 ファックス：(0263) 73-5432